

平成 25 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「功労賞」



長 嶋 紀 一 (ながしま きいち)

日本大学文理学部名誉教授

1941 年 1 月 8 日生まれ

【授賞理由】

「健やかな老いをもたらす」という壮大なテーマの下に成し遂げられた研究は、多くの高齢者の尊厳を守ると共にその人らしい生き方を支える礎となった。また、その活動は研究者という小さな枠にとらわれることなくすべての介護関係者の将来に光明をもたらした。

【略歴】

1969 年 3 月 日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程満期退学

1970 年 4 月～1975 年 3 月 亜細亜大学教養部

1975 年 4 月～2011 年 1 月 日本大学文理学部心理学科

【業績および活動内容】

1966 年より浴風会病院において高齢者の心理学的な研究を行い、感覚・知覚・認知・記憶・知能・パーソナリティなどの基礎的研究に従事した。同時に、高齢者の日常生活動作能力に関する心理学的研究を行った。

1987 年から 2000 年の 13 年間には、年 4 回スーパーバイザーとして家族懇談会に参加し、認知症に関する情報提供、困っていることや悩みと体験談の開示をした。

また、2000 年からは認知症介護研究・研修仙台センターのセンター長、2006 年には顧問として認知症ケアの研究と研修に従事するとともに、認知症ケアに関する多くの研究者、教育者、心理臨床家を育成した。